



令和6年度 キックオフの会事例集

～青少年赤十字への意識化を図り、活動を充実させるために～



- ・加盟校の子どもたちが、青少年赤十字への関心や意欲を高めたり、活動を充実させたりするための意識化を図る方途の一つとして、キックオフの会を実施します。
- ・今まで学校で取り組んできたこと、これから取り組もうとすることは、青少年赤十字の活動にもつながっています。自分自身が、何を実践すればよいかを具体的に考えられるようにすることが大切です。
- ・助成指定校では、園児・児童・生徒の皆さんに、どのような場で、どのような話をしていただけたのでしょうか。各校（園）で行われた『キックオフの会』をご覧ください。

令和6年度 キックオフの会事例校 (JRC未来応援プロジェクト指定校)

20万円助成校(園)		10万円助成校(園)		10万円助成校(園)	
1	平島学園 こじか幼稚園	12	各務原市立稲羽東小学校	24	下呂市立竹原小学校
2	岐阜市立加納小学校	13	各務原市立中央小学校	25	下呂市立馬瀬小学校
3	岐阜市立藍川中学校	14	山県市立桜尾小学校	26	岐阜市立岐阜清流中学校
4	大垣市立上石津学園	15	瑞穂市立穂積小学校	27	岐阜市立梅林中学校
5	岐阜県立池田高等学校	16	瑞穂市立西小学校	28	山県市立高富中学校
10万円助成校(園)		17	岐南町立北小学校	29	山県市立伊自良中学校
6	上楽学園 長森幼稚園	18	海津市立海津小学校	30	大垣市立江並中学校
7	那加学園 子苑第一幼稚園	19	郡上市立相生小学校	31	揖斐川町立谷汲中学校
8	那加学園 子苑第二幼稚園	20	郡上市立牛道小学校	32	郡上市立高鷲中学校
9	杉山第三学園うぬま第一幼稚園	21	郡上市立白鳥小学校	33	郡上市立郡南中学校
10	杉山第三学園みたけ幼稚園	22	郡上市立明宝小学校	34	恵那市立恵那西中学校
11	飛驒学園 美鳩幼稚園	23	七宗町立上麻生小学校	35	羽島市立桑原学園

学校名をクリックすると該当ページにジャンプします。



でこのページに戻ります



平島学園 こじか幼稚園

R6.5.23(木)
キックオフの会

担当:園長
参加:園児 145名
職員 20名



・赤十字の説明

*赤十字の概要

*赤十字のバッジのプレゼント

・未来応援プロジェクト指定校について

・本年度の活動の説明

*自分の命を守ることの大切さについて

*交通教室・連れ去り防止教室について

*能登半島地震について

*避難訓練について

*水泳教室について

概要





岐阜市立加納小学校

R7.2.7 (金)
お昼の全校放送

担当:生徒指導主事
参加:児童 322名
教職員 30名

①赤十字とは

②「赤十字」と「青少年赤十字」の紹介

動画『ハートラちゃんといっしょ!「赤十字」と「青少年赤十字」』の視聴

③JRC未来応援プロジェクトについて

- ・学校生活における青少年赤十字活動をとおして、青少年赤十字の理解と促進を図ることを目的とした事業に参加し、青少年赤十字活動で大切にしている活動の一つ「健康・安全」に関わった実践をする。

- ・本校が加盟している青少年赤十字から、「JRC未来応援プロジェクト」の指定校として選ばれたことを紹介する。

- ・助成事業によって完成した「加納小校区 安全マップ」を披露し、これを活用して、安全指導を行う。

概要





岐阜市立藍川中学校

R6.9.2 (月)
全校放送 (命を守る訓練)
担当:教頭・教務主任
参加:生徒 250名
教職員 25名

- ①赤十字とは
- ②赤十字の誕生
- ③赤十字の現在の活動
- ④青少年赤十字がめざすもの
- ⑤JRC未来応援プロジェクト指定校に
認定されたこと
- ⑥JRC未来応援プロジェクト活動の趣旨
- ⑦どのように関わって活動していくのか

概要





大垣市立上石津学園

R6.6.19 (水)
朝の放送

担当:教頭

参加:生徒 274名

教職員 30名

- ・赤十字社について
- ・青少年赤十字の活動
- ・JRC未来応援プロジェクト指定校について
- ・今年度の活動について
 - ※地域の特色
 - ※食の安全
 - ※防災
 - ※まちづくり

概要





岐阜県立池田高等学校

R6.4.17 (水)
総合的な探究の時間

担当:研修主事
参加:生徒 120名
教職員 8名

- ・全体に向けて日本青少年赤十字の概要について説明
- ・防災に対する本校の取り組みについて助成を受けることを説明
- ・避難所における高校生の役割について説明
- ・共助についてと、協働することの大切さ:グループエンカウンター

概要





上楽学園 長森幼稚園

R6.5.21 (火)
春の避難訓練後

担当:園長
参加:園児 150名
教職員18名

- 赤十字のマークを見たことがあるかな
 - ・お医者さん・病院・救急車
 - みんながいつも頑張っていることを続けていこう
 - ・命をたいせつにすること
 - ・元気に遊ぶこと
 - ・お家人の人、友だちや先生と仲良くすること
- 〈園庭でのお休み場所…赤十字テントの中のイス〉
- 青少年赤十字の活動を紹介した
「いのちと健康」「みんなとなかよし」

概要





那加学園 子苑第一幼稚園

R6.6.24 (月)
年長園児対象の集会

担当:園長、学年主任
参加:園児 86名
教職員5名

- ・このマークを見たことがあるかな
「病院」「救急車」
- ・赤十字のマークです!
- ・みんなは青少年赤十字の一員
- ・今年は『おじいちゃんとおばあちゃん
をよろこんでもらおう大作戦』をやる
よ

概要





那加学園 子苑第二幼稚園

R6.5.14(火)
全園児集会

担当:園長
参加:園児 303名
教職員 40名

- ・赤十字のマークについて
- ・赤十字の活動について
- ・子苑第二幼稚園は
『自分の命は自分で守る』
『生き物とのふれあい』
『廃材あそび』
の3つに取り組んでいく

概要





杉山第三学園 うぬま第一幼稚園

R6.7.5 (金)
10:30~

担当:担当教諭
参加:園児 61名
教職員12名

SDGsでの資源を大切にすることや世界には様々な人々がいて、文化の違いを知り、世界の国の友だちがどんな国でどのような生活をしているかをシンガポールから始め、SDGsの教材や映像教材を利用して伝えていった。

また、交際交流も行い、手遊びや言語の違い、時間など文化の違いを知ったり、共通のことも知ったりしながら、オンラインで学んだ。

概要





杉山第三学園 みたけ幼稚園

R6.7.12(金)
10:30~

担当:副主任
参加:園児 155名
教職員 18名

SDGsでの資源を大切にすること、友達を大切にすることを始めに、世界の国のお友だちがどんな国でどのような生活をしているかをシンガポールから始め、シンガポールがどこにあるのかを調べ、国の特徴について伝えました。教材から学ぶ内容を子どもたちに分かりやすく伝えました。

概要





飛騨学園 美鳩幼稚園

R6.5.21 (火)
合同朝の会

担当:園長
参加:園児 82名
教職員12名

- ①赤十字のマークと赤十字の説明
- ②赤十字テントと赤十字の活動について
- ③未来応援プロジェクト指定幼稚園について

概要





各務原市立稻羽東小学校

R6.5.7 (火)
お昼の放送

担当: 養護教諭
参加: 児童 120名
教職員 16名

日本赤十字社のマークの意味、創設者アンリーデュナンさんの思いや青少年赤十字の意味と活動を紹介するとともに、JRC未来応援プロジェクトの認定校に選ばれ、いただいたお金で、健康安全に関する取組「歯みがき習慣」を実施し、自分の健康を管理できる人になるという目標を全校で共有した。また、歯科医や歯科衛生師など地域の講師を招いて、歯の大切さやみがき方の指導をしていただくことを通して、「自分の歯の状況に気づき どのようにみがいたらきれいになるか考え 普段の歯みがきで意識してみがく実行する」を意識して歯みがき活動を行うこと。また、学んだことを家庭や地域の人たちにも広げていくことで、稻羽東小校区の健康に貢献していくことなど活動の見通しをもった。

概要





各務原市立中央小学校

R6.5.17 (金)
児童集会(放送)

担当:校長、児童会担当
参加:生徒 369名
教職員 22名

- (1) 赤十字の説明
- (2) 未来応援プロジェクト指定校について
- (3) 今年度の活動の説明、紹介
 - ・児童会スローガンの発表
 - ・SDGsの紹介とパネル作成の説明
 - ・ロケット打ち上げの紹介

概要





山県市立桜尾小学校

R6.5.30 (木)
1時間目

担当:校長
参加:児童 55名
教職員 15名

- ・校舎内外にある危険について考える危険予知トレーニング (KYT) を縦割り班で行った。
- ・全校児童を体育館に集めてKYTの説明をした。
「自分の命は自分で守る」ことの重要性と命を守れる力を付けていこうという話をした。
- ・6年生全9名を、桜尾小が誰にとっても安心安全な場所になるための「命を守るリーダー」に任命した。
- ・委嘱状として赤十字のワッペンを一人一人に配った。

概要





瑞穂市立穂積小学校

R6.12.17 (火)
お昼の放送

担当:教頭
参加:児童 799名
教職員 57名

- ・赤十字の説明
- ・青少年赤十字の活動について
- ・未来応援プロジェクト指定校について
防災の本(買っていただいた)の紹介
- ・金色有功賞受賞の紹介

概要





瑞穂市立西小学校

R6.5.8 (水)
全校放送

担当:教頭

参加:児童 166名

教職員 25名

- ①赤十字とは
- ②マークの意味と成り立ち
- ③青少年赤十字の活動
- ④西小と赤十字の活動
 - ・青少年赤十字の旗の紹介
 - ・西小の学校目標と青少年赤十字の目標が一致すること

概要



思いやりの心で、人に接し、助け合う行動をとることは青少年赤十字の目指す姿と一致する。災害から命を守れる自分になろう！



岐南町立北小学校

R6.5.27 (月)
お昼の全校放送

担当:教頭

参加:児童 330名

教職員 30名

- ・「青少年赤十字」について
- ・児童が命を守る訓練に真剣に取り組む理由
「自分の命は、自分で守る」
…そのために、「気づき・考え・実行する」ことが大切
- ・いろいろな状況を想定した「命を守る訓練」を実施し、一人一人がどのように自分の命を自分で守るのかを考え、行動に移していくことを年間を通して学んでいく。
- ・学年によっては、教科の学習等で、防災や減災について学習し、それを日常の生活の中での気づきや考えにつなぎ、実行に移していくようにする。

概要





海津市立海津小学校

R6.5.29 (水)
児童集会(放送)

担当:校長、外部講師
参加:生徒 421名

- ・赤十字の説明
- ・JRC未来応援プロジェクト指定校について
- ・青少年赤十字の活動目標
- ・海津小学校の活動について

『みんながもっているやさしい気持ちを行動にうつす』

～助け合い・思いやりの心をひろげていこう～

- ◇命を守る訓練
- ◇心肺蘇生法・AED
- ◇車いす体験・高齢者体験
- ◇パラスポーツ
- ◇日常の中で～海津っ子思いやり宣言～

概要





郡上市立相生小学校

R6.5.27 (月)
全校集会

担当:校長
参加:児童 111名

- ① 赤十字の成り立ちについて
- ② 青少年赤十字は、どんな実践目標をもって、どのような具体的活動をしているのか
- ③ 相生小学校が赤十字活動のモニター校になったこと
- ④ 相生小学校の取組として

概要

毎日、生活をしていて、自分のことでも、仲間や家族や地域とのかかわりでも何でもよい、こんなことができるとよいなって思うことやこんなことができていないなって、自ら『気付いた』ことがあると思う。そんな時には、どうしたらよいのか、どんな活動ができるなどを『考える』と思う。その考えたことをとにかく『実行』してみることが大切だということ伝え、子どもたちに、普段の生活の中で自分ができるとを見つけ取り組むことを意識付けることができた。





郡上市立牛道小学校

R6.5.10 (金)
全校集会

担当:教頭
参加:児童 77名

- ・赤十字の活動や理念の紹介
- ・赤十字社から頂ける補助金で行う活動内容や購入する物の説明

概要





郡上市立白鳥小学校

R6.4.20 (水)
全校集会

担当:校長
参加:児童 202名
教職員 17名

- ・赤十字の理念
- ・赤十字の活動の理解
- ・自らの活動とつなげる
- ・自らの活動とつなげる

概要



集会!



くるしんでいる ひとを
たすけたい!
あつく やさしいこころで
こうどうしているよ

JRC未来応援プロジェクト

自分も みんなも 大事 人々が仲よくくらせるように
にこにこ班のみんなで 笑顔になろう

集会!



アンリー・デュナン（スイス人：第一回ノーベル平和賞）提唱。
人の命を尊重し、「苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界191の国と地域で活動する組織。日本赤十字社はそのうちの一社であり、国内外における災害救護をはじめ、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。

自分も みんなも 大事 人々が仲よくくらせるように
にこにこ班のみんなで 笑顔になろう

JRC未来応援プロジェクト

集会!

じぶんがやれることを…
むりなく たのしく
じぶんと
みんなのために。

自分も みんなも 大事 人々が仲よくくらせるように
にこにこ班のみんなで 笑顔になろう

JRC未来応援プロジェクト

ラスト

さくら道 ネイチャーラン記念
JRC未来応援プロジェクト助成

自分も みんなも 大事
人々が仲よくくらせるように
にこにこ班のみんなで
笑顔になろう





郡上市立明宝小学校

R6.4.25 (木)
全校集会

担当:教頭

参加:児童 58名

教職員 12名

概要

- ・赤十字の説明
 - ・未来応援プロジェクト指定校について
 - ・今年度の活動の確認
- 健康⇒なわとびの取組、明宝小チャレンジラン(全校)
- 福祉⇒手話教室、車いす体験、高齢者疑似体験(6年生)
- SDGs⇒完熟堆肥づくり(6年生)





七宗町立上麻生小学校

R6.5.1 (水)
全校朝会

担当:教頭
参加:児童 57名
教職員 14名

- ① 青少年赤十字の使命、活動内容について説明
 - ・日本赤十字の歴史的意義
 - ・日本赤十字社の使命
- ② 本校がモニター校に認定されたことについて
 - ・本校がモニター校に認定された経緯について
 - ・岐阜県青少年赤十字校推進モニター校として
- ③ モニター校の活動について
 - ・防災…さまざまなケースにおける命を守る訓練
備えや災害発生時の対処の仕方などの防災学習
 - ・保健…歯科保健衛生活動
(給食後の歯磨きやフッ化物洗口、カラーテスター等)
よりよい生活習慣・病気を予防する力・不安や悩みへの対処法・食事の重要性などの講話
 - ・福祉…社会福祉協議会の協力を得た障がい者体験や高齢者体験
福祉講話や交流

概要





下呂市立竹原小学校

R6.4.8 (月)
始業式

担当:校長

参加:児童 154名

教職員 18名

- ・JRC未来応援プロジェクトへの参加について
- ・助成金の活用について
(前年度の紹介と今年度の予定)
- ・赤十字の歴史について
- ・日本赤十字社の取組について

概要

『赤十字』とは

約170年前、^{ねんまえ}アンリー・デュナンが、^{せんそう}戦争^{さむ}で傷ついた^{みかた}兵士(へいし)を、敵味方なく、^{てきみかた}村人と協力^{きょうりょく}して^{たすけた}ことから始まった活動。その後、世界中に広まる。

さんか
竹原小学校も参加！

運動会テント

力を合わせる運動会
～全力・協力・努力～

テレビモニター

おうえんしてもらっています！

(活動に対して日本赤十字社から補助金や物品をいただいている)



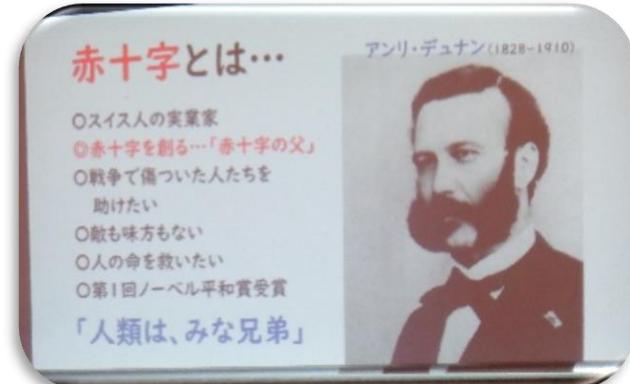
下呂市立馬瀬小学校

R6.5.22 (水)
全校集会

担当:校長
参加:児童 38名
教職員 7名

- ・赤十字とは
(アンリ・デュナンの功績)について
- ・青少年赤十字の活動と歴史について
(青少年赤十字が大切にしていること)
- ・全校児童の向けてのメッセージ

概要





岐阜市立岐阜清流中学校

R6.5.17 (金)
お昼の放送等

担当:校長、外部講師
参加:生徒 450名
教職員35名

- ・本校がJRCに加盟していること
- ・日本赤十字社の活動内容
- ・校区の岐阜赤十字病院が担っている役割等について説明
- ・今年度から、防災学習をスタートすること
- ・地域ボランティアスタッフ(CVS)登録の紹介
- ・ボランティア活動に対する興味を喚起
- ・防災学習のスタートとして、村岡特任教授から、防災学習の重要性や地域が抱える災害リスクについて講義

概要





岐阜市立梅林中学校

R6.9.5 (木)
総合的な学習の時間

担当:教頭
参加:生徒 95名
教職員 7名

- ・赤十字の設立の歴史紹介
- ・赤十字の活動紹介
- ・本事業と校外研修との関り説明

概要

赤十字という言葉はよく聞くけど、病院とかだけのことだと思っていました。でも災害支援や教育など私たちの身近なことに取り組んでくれていることを知れてよかったです。今度の研修もしっかりと川のことを学んでみたいと思います。～生徒感想より～

赤十字とは

赤十字は、アンリー・デュナン（スイス人：第一次ノーベル平和賞受賞者）が提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界191の国と地域に広がる赤十字・赤新月社のネットワークを生かして活動する組織です。

日本赤十字社はそのうちの一社であり、西南戦争における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護をはじめ、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。

日本赤十字社の活動

災害支援
寄付
献血
医療
青少年育成



未来応援プロジェクト

皆さんの学びを応援してくれます

◆ぎふMIRAI'sの長良川学習





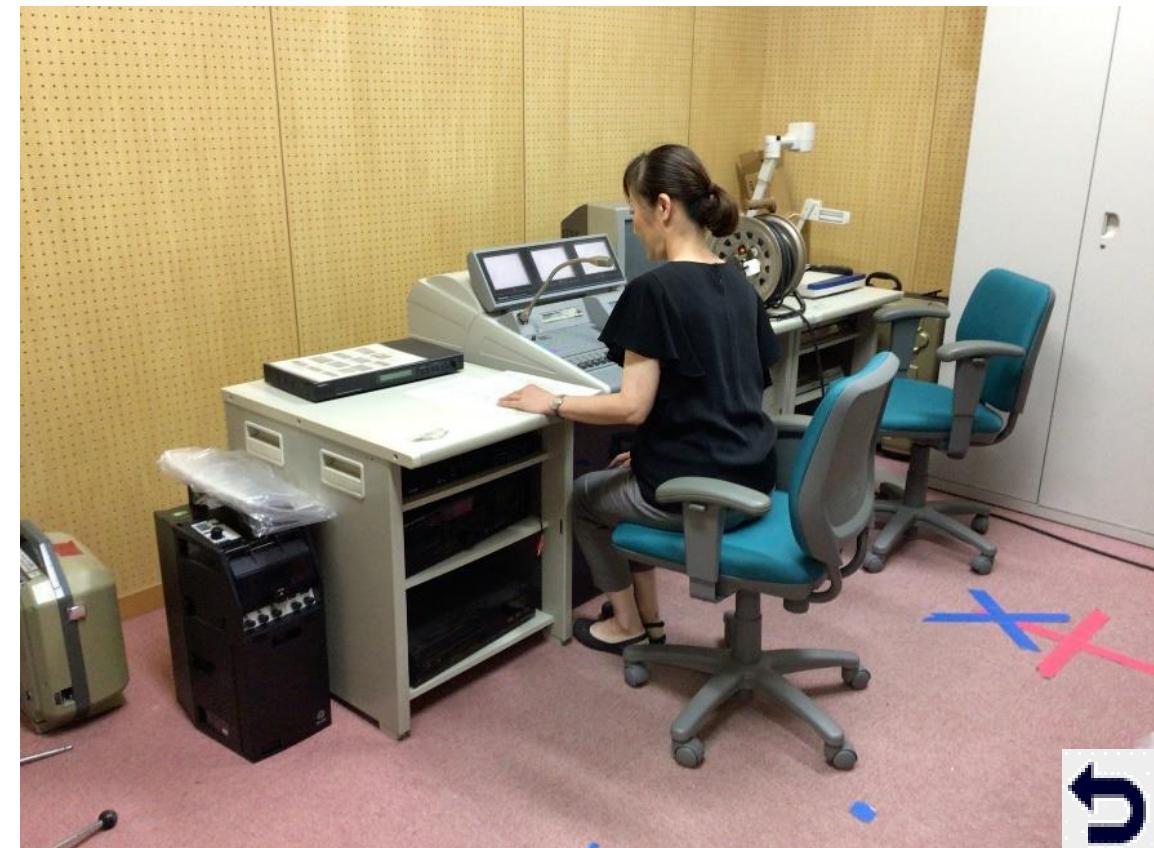
山県市立高富中学校

R6.6.12(水)
昼の放送

担当:教頭
参加:生徒 390名
教職員37名

- ①赤十字とは
- ②青少年赤十字について
 - ・大切にしていること
 - ・具体的な活動内容
(本校の活動内容も含む)
- ③JRC未来応援プロジェクト指定校になったことについて

概要





山県市立伊自良中学校

R6.11.5 (火)
給食の時間

担当:教頭
参加:児童 64名
教職員 13名

①赤十字の説明

- ・赤十字の歴史と目的
- ・私たちと赤十字の関わり

概要

②日本赤十字社の取組やJRC活動についての説明

- ・JRCについて
- ・指定校としての今後の取組
- ・今、わたしたちにできること





大垣市立江並中学校

R6.6.11(火)
オンライン全校集会

担当:生徒会執行部
参加:生徒 300名
教職員30名

- ①赤十字について
- ②青少年赤十字の活動
- ③赤十字が大切にしていること
「気づき、考え、実行する」について
- ④江並中人権宣言と青少年赤十字との関わりについて
- ⑤江並中人権宣言に基づく課題と成果

概要





揖斐川町立谷汲中学校

R6.5.7 (火)
昼の放送

担当:教頭
参加:児童 49名
教職員 10名

- 1 赤十字とは・モニター校になったことについて
- 2 今年度の活動テーマ
「お互いを大切にし、誰もが安心してくらせる谷汲」
- 3 活動内容
 - ・小中交流活動・小中合同ひびきあい集会
 - ・揖斐特別支援学校との交流
 - ・募金活動(サンサンフリーマーケット)
 - ・独居高齢者へのプレゼント 等

概要





郡上市立高鷲中学校

R6.5.24(金)

総合的な学習の時間

担当:「総合的な学習の時間」担当

参加:生徒 76名

教職員14名

概要

- 赤十字の説明
- 未来応援プロジェクト指定校について
- 今年度の活動の説明、確認
 - ・TAKASUふるさとDAYについて
 - ・郡上おどり発表会について
 - ・花壇まめなかなプロジェクトについて
 - ・たかすふるさと祭りについて





郡上市立郡南中学校

R6.12.3 (火)
全校朝の会 (Zoom)

担当: 校長

参加: 児童 115名

教職員 16名

(1) 赤十字とは

- ・赤十字の意味と役割について

(2) アンリ・デュナンの思い

- ・傷ついた兵士の救護活動から赤十字社結成に至った思いについて

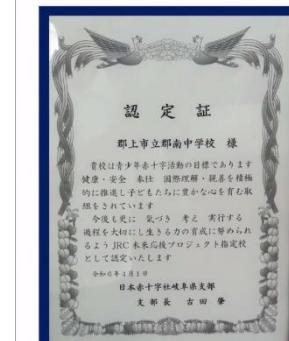
- ① 戦場の負傷者と病人は敵味方の差別なく救護すること
- ② そのための救護団体を平時から各国に組織すること
- ③ この目的のために国際的な条約を締結しておくこと

- ・現在行われている、様々な支援について

(3) JRC未来応援プロジェクト指定校の一員として目指す態度や具体的な活動

- ・誰もが安心して過ごせる社会をつくるために、そして、困っている人がいたら手を差し伸べられる社会にするために、気づき、考え、そして、実行に移すこと

概要





恵那市立恵那西中学校

R6.6.14 (金)
朝の会 全校放送

担当:「総合的な学習の時間」担当
参加:児童 49名
教職員 10名

- ・国際赤十字社の活動
- ・アンリ・デュナンの業績
- ・日本赤十字社と青少年赤十字の活動
- ・未来応援プロジェクト指定校としての役割
- ・防災学習の取組の方向性を確認

概要

アンリ・デュナンについて



スイスの実業家

1853年
フランス・サルディニア軍とオーストリア軍の戦争

「負傷した兵士は、もはや兵士ではない。」と救済活動

1. 戦場の負傷者と病人は敵味方の差別なく救護すること
2. そのための救護団体を平時から各国に組織すること
3. この目的のために国際的な条約を締結しておくこと

国際社会への訴えにより、国際赤十字社が発足

恵那西中学校の取組として

防災・減災

地域住民の一人として、自分たちにできることや自分たちがすべきことを考えて取り組める力を付ける。





羽島市立桑原学園

R6.4.24 (水)
全校朝の会(Zoom)

担当:JRC担当
参加:児童 143名

1. 赤十字のマーク
2. 赤十字の始まり
3. 赤十字の国内外での活動
4. 学校で取り組むこと
5. テント紹介

概要

